

社団法人 山梨県栄養士会 〒400 甲府市丸の内一丁目10-5 ☎0552-22-8593 平成9年5月

行 事 予 定

4月10日(木)	新事務所開設
5月30日(金)	第13回(平成9年度)通常総会
6月21日(土)	第5回栄養学術講座



目 次

事務局だより.....	2	平成9年度収入支出予算書(案).....	17
告示 第13回(平成9年度)通常総会開催通知...	4	定款一部変更承認の件.....	19
平成8年度 事業報告	5	平成9年度 日本栄養士連盟山梨県支部総会	21
平成8年度収入支出計算書	12	平成9年度新入会員の紹介.....	27
平成9年度 事業計画(案)	15	賛助会員.....	29

事務局だより

1. 平成9年度会費納入のお願い

会費は栄養士会運営の基本財源です。至急納入してください。機関誌「栄養日本」は会費を納入してから事務処理上2か月を経ないと送付されません。

- ① 会費の金額 12,500円
- ② 振込口座 山梨中央銀行甲府駅前支店 普通預金口座 287296
(社)山梨県栄養士会あて
- ◎ 通常総会で会費の受付事務を行います。

2. 会費の銀行預金口座自動振替手続のお願い

会費の預金口座自動振替契約のお願いを度々いたしました。未契約の会員は速やかに手続をお願いします。

契約された会員の会費は4月10日に自動的に振替で納入されました。

- ◎ 自動振替未契約会員は理由があることと思います。会費事務処理の参考にしたいのでその旨を電話、FAXでお知らせ下さい。

3. (社)山梨県栄養士会事務所移転のお知らせ

4月10日、次の所在地に移転しました。明るい雰囲気のと事務所です。お立寄りをお待ちしております。

甲府市丸の内一丁目10-5 山梨県社会福祉会館1F

案 内：県民会館に隣接したスクランブル交差点を東へ約100m東京電力(株)東隣

4. 事務所移転経費拠出のお願い

昭和22年、日本栄養士会山梨県支部設立から40有余年、山梨県衛生部公衆衛生課内に事務所を置き会務を執ってきましたが、昭和60年社団法人山梨県栄養士会に改組設立と同時に事務所を山梨県精麦工業協同組合のご好意により同組合2階を借用して現在に至っております。この間しばしば執務環境の一応整備された事務所の確保が話題にはなっておりました。しかし財源の乏しい会としては極めて困難であるとして経過してきました。が、この度山梨県健康増進課のご配慮で事務所の問題が急浮上し協議を重ねたところこの機を失すると永く事務所移転がむずかしくなるのではないかと判断から移転が決まりました。

ご存じのとおりとすると会の運営にもこと欠く予算からは移転に伴う諸経費の捻出はできません。

そこで移転経費について3月30日開催された理事会で協議の結果次のとおり会員のご協力をいただくことになりました。どうか会の運営と発展のためよろしくご理解くださるようお願いいたします。

(1) 拠出をお願いする目標金額 300,000円

移転にともなう諸経費としては、耐用にたえない事務用什器備品、書類書籍等の廃棄、旧事務所電気配線、電気器具の撤去、事務用什器備品書籍等新事務所への運搬、新事務所の電気工事、一部什器購入費等

(2) 拠出をお願いする金額

- ① 栄養士会理事監事 栄養士連盟役員 1口 5,000円以上
- ② 会 員 1口 1,000円以上

- ③ 拠出金は、各職域部会ごとに役員が取扱いをいたします。ご協力をお願いします。

5. 第5回栄養学術講習会のお知らせ

- 1. 期 日 6月21日(土) 9:00~15:30 (受付9:00~9:30)
- 2. 場 所 山梨県総合婦人会館中研修室 甲府市朝気1-2-2 ☎0552-35-4171
- 3. 内 容 「病態栄養学」アレルギー性疾患

—— アレルギー発生のメカニズムをより精細に理解する ——

- (1) 「アレルギー発生のメカニズム」
山梨医科大学寄生虫免疫学講座助教授 田坂捷雄
- (2) 「治療の理論と食事療法」
—— 治療の最新理論を修得し実践への応用を学ぶ ——

県立中央病院アレルギー内科医長 松崎剛

注：受講希望者6月15日(木)までに事務局へ電話で申込のこと。

- ◎今年度から研修会・講習会等を受講する場合は、資料代として500円(会員外1,000円)を受付でいただきますのでご承知ください。

◎ 第6回栄養学術講座の予告

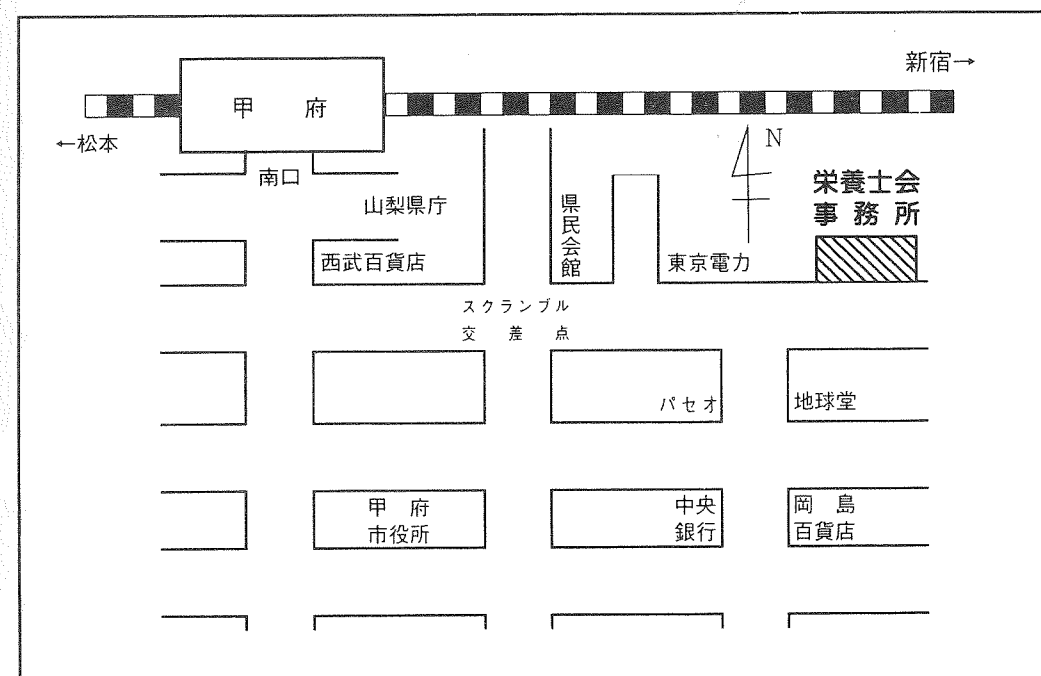
栄養学の最近の知見について講座を開講します。

日 時 11月8日(土)

講 師 昭和女子大学大学院 鈴木緑衣郎教授

詳細については「栄養やまなし」No55号(9月発行予定)事務局だよりでお知らせします。

(社)山梨県栄養士会事務所案内 〒400 甲府市丸の内1-10-5 TEL 0552-22-8593
FAX 0552-22-8593



告 示

平成9年5月1日

第13回（平成9年度）通常総会開催通知

社団法人 山梨県栄養士会 正会員 各位

社団法人 山梨県栄養士会 会長 藤 卷 一 雄

平成9年度本会第13回通常総会を定款第21条の規定に基づき下記により開催いたしますので、注意事項をお含みのうえご出席くださいますようお願いいたします。

記

日 時 平成9年5月30日(金) 午後1時～4時
場 所 山梨県総合婦人会館 大研修室〔甲府市朝気1-2-2 ☎ 0552-35-4171〕
出 席 者 社団法人 山梨県栄養士会 正会員
議 題

- 第1号議案 平成8年度 事業報告及び収入支出決算並びに財産目録承認の件
第2号議案 平成9年度 事業計画案及び収入支出予算案承認の件
第3号議案 定款一部変更承認の件
第4号議案 会員除名承認の件

＜注意事項＞

- ① 総会出席正会員は、12時20分から12時50分までに受付を済ませ、総会会場に入場してください。
- ② 本会総会に引き続き、日本栄養士連盟山梨県支部の総会を開催します。
- ③ 総会に出席できない正会員は、総会当日までに同封の委任状を必ず提出してください。（委任状の提出は法律で定められた会員の義務ですから、忘れないよう義務の履行をお願いします）
- ④ 総会に出席の正会員は、「栄養やまなし」No54号（総会特集号）を忘れず持参してください。会場での配布はしません。
- ⑤ 総会資料に基づき、当日総会会場で質問、意見、要望等のある会員は、同封の「質問・意見・要望発言申告書」用紙に記入して、出席受付の際に提出してください。
- ⑥ 総会出席正会員には記念品を用意しましたので、総会終了後、受け取ってください。（総会会場に入場する時には、混乱しますので、お渡しいたしません。）
- ⑦ 不明の点は、当日担当役員にお尋ね下さい。

第1号議案

平成8年度 事業報告

平成8年度は役員任満了に伴い、5月25日に開催された平成8年度通常総会において役員改選が行われ、会長、副会長、理事、監事などが選出され、新しい執行体制による運営が図られることとなった。

7月以来、全国各地、特に京阪神地域を中心に腸管出血性大腸菌O-157による食中毒事件が学校給食施設から発生し大きな社会問題として波紋を呼び、改めて食品衛生の管理徹底の重要性を喚起させたが、不幸にしてこれが原因で幾多の幼い尊い命が奪われたことは残念であった。原因食品も公には厚生省から発表された「かいわれだいこん」との説明も何となく釈然としないまま終局を迎えた。

また、栄養成分表示基準の制定、医療法改正案要綱の答申、介護保険制度案大綱の答申、医療保険制度改革の考え方を示す第2次報告、腸管出血性大腸菌感染症の指定伝染病の指定、厚生省官僚の頂点に立つ事務次官の汚職事件の発覚と逮捕起訴、厚生省組織の再編案や生活習慣による疾病対策の基本的方向性についての意見具申、調理師養成のあり方についての意見具申等栄養士に関わる諸制度の発足、見直しが進められ、栄養士を取り巻く社会環境は規制緩和、行財政改革、教育改革等の大きな流れのなかで大きな試練を迎えることとなった。

県内においては、昨年度に引き続き市町村栄養士の配置促進について関係市町村長及び市町村議会議長に對して陳情を行った。（参考：市町村栄養士等配置状況 別紙2）

1. 会務の執行状況

(1) 第13回（平成8年度）通常総会の開催

平成8年5月25日(土) 13:00～16:00 山梨学院大学 第40号館
議 案

- 第1号議案 平成7年度事業報告及び収入支出決算並びに財産目録承認の件
第2号議案 平成8年度事業計画案及び収入支出予算案承認の件
第3号議案 役員改選の件
第4号議案 名誉会員承認の件

以上の議案は第1号議案、第2号議案については賛成多数で承認される。

第3号議案については、（別紙1）の通り選出され、新執行体制が発足した。

第4号議案については、顧問の長田正五氏の名誉会員推戴が賛成多数で承認される。

(2) 理事会の開催

① 第1回理事会 4月19日(金) 13:30～17:00 甲府市南公民館
議 事

(a) 事務局職員の採用について（中村玲子）(b) 市町村長及び市町村議会議長宛「栄養相談指導の推進に関する要望」活動と、栄養士等の配置計画調査について (c) 理事候補者の選出について

① 支部選出理事候補 8名 ② 職域部会選出理事 11名 ③ 常任理事 1名 (d) 会長候補 1名
(e) 副会長候補 2名 (f) 監事候補 3名 (g) 関東甲信越「糖尿病」セミナーへの協力 (h) 通常総会開催会場について (j) その他

② 臨時理事会 6月29日(金) 10:00～12:00 甲府市南公民館
議 事

(a) 定款第12条の規定による会長代行の指名について（老沼喜久江副会長を指名）(b) 定款施行細則第9条の規定による規定による執行機関の担当部署 (c) 副会長の統括部署 (d) 日本栄養改善学会発表・参加奨励補助 (e) 平成8年度「いきいき山梨ねんりんピック'96」への参加協力 (f) 「栄養なんでも相談」の山梨日日新聞掲載記事の、市町村広報紙への切り替え問題 (g) 関東甲信越「糖尿病」セミナーへの協力 (h) 酸素療法研究会の後援 (i) 平成8年度上期事業予定 (j) その他

③ 第2回理事会 9月20日(金) 13:30～17:00 国際交流センター
議 事

(a) 平成8年度下期事業予定 (b) 新入会員研修会の在り方の検討 (c) 集団給食施設調理従事者の研

修会の検討 (d) 支部組織強化対策について (e) 会員管理体制の確立 (f) 事業収入の拡大策について (g) 「健康と栄養を考える講演会」 (h) 「子どもの成人病予防食生活講習会」 (i) 関東甲信越糖尿病セミナー (j) 第3回栄養学術講座の開講 (k) 事務所移転問題 (l) 市町村栄養士配置促進陳情 (m) 平成8年度研究発表会 (n) 在宅ケア研究集会への対応 (o) その他

④ 第3回理事会 1月17日(金) 13:30~17:00 総合婦人会館

議 事

(a) 第4回栄養学術講座の開講 (b) 栄養改善大会の共催 (c) 第7回研究発表会 (d) 栄養指導技法学習会 (e) 第4回理事会の開催 (f) その他

⑤ 第4回理事会 3月28日(金) 13:30~17:00 甲府市北公民館

(a) 平成8年度事業報告(案) (b) 平成8年度収入支出決算 (c) 平成9年度事業計画(案)
(d) 平成9年度収入支出予算(案) (e) 平成9年度総会の開催 (f) 平成9年度日本栄養士会通常総会 (g) その他

⑥ 理事・監事研修会 6月29日(土) 13:00~16:00 甲府市南公民館

研修内容

(a) 社団法人日本栄養士会の組織 (b) 社団法人山梨県栄養士会の組織と執行体制 (c) 各部の業務担当と役割 (d) 会計事務規定 (e) 庶務規定 (f) 会員慶弔規定 (g) その他

2. 会員資質向上対策

(1) 生涯学習の一環として「栄養学術講座」の第2年次分第3回を11月30日(土)山梨学院大学で、続いて第4回を明けて2月1日(土)に同じく山梨学院大学で開催した。

(参加会員数 第3回目 84名、第4回目 41名 延 125名)

(2) 健康と栄養を考える講演会を、カルピス食品工業株式会社の後援で10月12日(土)に山梨学院大学で開催した。(参加会員数125名)

(3) 子供の成人病予防食生活講演会を、11月6日(水)に山梨県及び財団法人児童育成協会児童給食事業部との共催で、総合婦人会館で開催、児童福祉施設の栄養士及び調理従事者を対象に実施した。

(参加者 89名)

(4) 第7回(平成8年度)研究発表会を、2月22日(土)に山梨学院大学で開催、各職域部会の代表による発表があった。

(参加者数 56名)

(5) 栄養指導技法学習会を3月1日(土)に総合婦人会館で開催、新しい学習方法を取り入れた学習会であった。

(参加者数 60名)

(6) 機関紙「栄養やまなし」の充実を目指して広報部が中心になって広報部会を4回開催し会員に親しまれる記事など苦心して3回発行したが、会員お知らせの記事が会員に徹底しない傾向が依然として見られ残念である。年間発行回数が僅か3回であるだけに、会員に関係する記事に目を止めて欲しいものである。

3. 組織の強化

(1) 組織部を中心に組織強化策について検討を進めた。組織問題は旧くて新しい問題であり、会員の意識の変化や、組織という集団の意思に対する認識の濃淡、集団組織の中での個人の位置付け、組織の意思決定のプロセス、組織として決定された問題と個人との関わりなど、時代の変遷とともに組織に対する考え方、受け止め方などは大きく変わっていくものである。特に地域保健法の施行に伴い、地域保健の在り方が大きな問題となっているが、地域保健事業のなかで、地域住民に対する栄養・食生活のきめ細かな相談・指導の展開を目指して、支部組織の強化を押し進め支部に所属する会員の総力を結集していくため支部組織をいっそう確固たるものとしていく必要がある。

従って、単年度だけで結論の出る問題ではなく、常に継続した会員の動向を慎重に見極めながら検討を進めることが肝要と考えられるので、次年度も計画的に検討を進めていく。

(2) 会費納入方法の合理化のため、前年度から銀行口座自動振替制度の導入を図ったが、趣旨が徹底しないのか、個々の会員の理解度が低いのか、無関心の会員が多いのか、当初予測していた全会員の新制度への転換が進まず、相変わらず会費徴収に人手が掛り、計画の半分にも満たない現状で残念である。

(3) 就業栄養士のなかで、本会に入会していない栄養士が多数見受けられるので、支部、職域部会を通した活動に期待したが、その効果は余りあがっていない。

(4) 会費未納による脱落会員が多い現状に、栄養士自身の専門職としての職能意識の如何が問われるが、新入会員数に匹敵する脱落会員数を数えている。支部・職域部会役員の所属会員に対する徹底した情報の把握と、支部・職域部会の研修・研究会等への参加呼び掛けを更に推進する必要がある。

(5) 新入会員の研修についても総務部を中心に検討を進めているが、未だ結論が出されておらず、今後の大きな課題である。

4. 社会活動の展開

(1) 山梨日々新聞紙上に連載していた「栄養なんでも相談」は年度途中から、県民のより身近な市町村広報紙に掲載を要請し、8月以降3回に亘り、計16編を県下全市町村に送付し、多くの市町村で広報紙等への活用がなされた。

(2) 本会事務所に毎週火曜日・木曜日の10:00時~15:00時に開設する電話「栄養なんでも相談」事業も6年目に入り、相談担当者も昨年の役員改選を契機に大幅な入れ替わりがあったが、県民からは根強い人気があり、相談件数はあまり多くはないが、切実な疾病と食事の問題や、新しい食品や季節の食品の栄養価や利用法についての相談などが寄せられている。

(3) 「いきいき山梨'96ねりんピック」が9月14日(土)に小瀬スポーツ公園を中心に開催され、実行委員会の一員として理事・監事の役員を中心に一般会員にも協力を願って参加し、パソコンを利用したの栄養相談や「ことぶき汁」の提供を行い県下各地から参集した高齢者をはじめとする県民から好評を博した。

(4) 平成8年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が8月1日~24日まで小瀬スポーツ公園他県下各市町村に分散して開催された。この大会に実行委員会の一員として参加、宿泊、衛生専門委員会に所属、また、献立小委員会委員として選手、役員の献立作成・試作に従事する等協力し、2月20日(木)の解散式には感謝状を贈呈された。

(5) 山梨県「酸素療法研究会」を後援し、アイメッセ山梨で7月6日(土)に開催され関係会員が参加した。

(6) 県歯科医師会が6月4日からの歯の衛生週間行事の一環として県下各支部歯科医師会主催の「歯の無料健康相談」や「展示会」等を後援し各支部が対応して参加した。11月9日(土)に県立文学館で山梨県と県歯科医師会主催で開催された「歯科保健のつどい」を後援し、会長が出席した。

(7) 「(株)はくばく」の強化精麦製品の普及啓発事業を地域活動部会、支部等が各地で開催し、県民に不足し勝ちなカルシウム、食物繊維等の摂取推進を図った。

(8) 「山梨県健康づくり推進会議」の構成団体として、会長が推進会議の理事として参加し、理事会、「県民健康づくり運動大会」(11月17日:小瀬スポーツ公園・屋内体育館)に出席した。

(9) 「山梨県みんなのスポーツ推進協議会」の理事として、会長が参加し、理事会、「みんなのスポーツ推進大会」(2月18日:自治会館)等に出席した。

(10) 「関東甲信越地区糖尿病セミナー」が10月27日(土)に甲府市総合市民会館で開催され、医療部会役員が参加し協力するとともに、本会からも協力費とし30,000円を拠出した。

(11) 県医師会、歯科医師会、看護協会等医療関係団体が進める「地域介護研究集会」に医療・地域活動・行政・福祉部会等の役員が参加し、地域介護の問題点や連携方法等について意見交換や学習を進めた。

(12) その他、国、県、市町村等が開催した健康づくり事業、保健栄養事業等に参加協力した。

役員執行体制

役員名簿

(平成8年度～9年度)

役職員	氏名	勤務地	現住所
会長	藤 卷 一 雄		甲府市千塚4-8-26
〃	老 沼 喜久江	大月市立中央病院	都留市古川渡632-15
副会長	斎 藤 正 治	甲州リハビリテーション病院	中巨摩郡白根町在家塚1016
常任理事	中 村 大 家	(社)山梨県栄養士会	甲府市山宮3000-2
理事	古 屋 百 合子	甲府市社会福祉協議会	甲府市大里町2623-105
〃	雨 宮 一 二 三	(財)山梨厚生会 山梨厚生病院	塩山市千野457
〃	沢 登 八千代	下部温泉病院	西八代郡下部町常葉3067
〃	小 淵 正 子	巨摩共立病院	中巨摩郡敷島町牛匂3750
〃	山 本 賀 子		北巨摩郡高根町蔵原1884
〃	外 川 晴 美	特別養護老人ホーム 富士山荘	南都留郡河口湖町船津6875-1
〃	長 田 庸 子	山梨県立甲府養護学校	甲府市南口6-7
〃	根 津 美智子	山梨学院短期大学	東八代郡御坂町上黒駒1662
〃	田草川 憲 男	山梨県小笠原保健所	東八代郡一宮町金田1023
〃	川 崎 陽 子		山梨市南1304
〃	大 木 由 枝	ホテル・デュ・シェル・ブルー	北巨摩郡大泉村西井出8240
〃	長 田 松 子	財団法人 住吉病院	甲府市小河原1-15-21
〃	深 沢 清 子	社会保険 鰍沢病院	中巨摩郡若草町加賀美3017
〃	渡 辺 富 雄	医療法人財団 加納岩総合病院	甲府市東光寺1-8-5
〃	沢 村 和 子	社会福祉法人 大島保育園	南巨摩郡増穂町最勝寺1315
〃	高 石 梅 子	特別養護老人ホーム 桃源荘	塩山市平沢689
監 事	小 沢 量 子	医療法人 井上内科小児科医院	甲府市緑ヶ丘1-18-20
〃	森 田 園 子		甲府市国母5-16-2
〃	依 田 明 子	山梨県甲府保健所	中巨摩郡竜王町西八幡831-3

◎担当部署表

会 長	藤 卷 一 雄	会務の統括	
副 会 長	老 沼 喜久江	会長補佐・会長代行及び総務部・学術部・広報部の統括	
〃	斎 藤 正 治	会長補佐・事業部・組織部の統括	
常任理事	中 村 大 家	事務局統括	
総務部長	深 沢 清 子	担当理事＝山本賀子・沢村和子	以上 3名
事業部長	渡 辺 富 雄	担当理事＝長田松子・高石梅子	以上 3名
学術部長	大 木 由 枝	担当理事＝沢登八千代・根津美智子	以上 3名
組織部長	小 淵 正 子	担当理事＝古屋百合子・川崎陽子	以上 3名
広報部長	田草川 憲 男	担当理事＝雨宮一二三・外川晴美・長田庸子	以上 4名

市町村栄養士配置計画に関する調査結果(平成8年度)Ⅰ

市の部 (7市)	既に栄養士を配置している	配置計画をもち採用の年度別計画がある			配置計画のない 主 な 理 由	回答の なかったところ	備 考
		管 理 栄養士	栄養士	他部署勤務栄養士の 活用を検討している			
甲 府 市	○						
塩 山 市						○	
山 梨 市	○						
韮 崎 市						○	
富士吉田市	○						
都 留 市	○						
大 月 市		10年度以降、管理栄養士、栄養士の区分不明					
計	4		(1)?			2	

町の部 (37市)	既に栄養士を配置している	配置計画をもち採用の年度別計画がある			配置計画のない 主 な 理 由	回答の なかったところ	備 考
		管 理 栄養士	栄養士	他部署勤務栄養士の 活用を検討している			
竜 王 町						○	
敷 島 町	○						
玉 穂 町						○	
昭 和 町						○	
田 富 町					財政的に困難		
春日居町						○	
牧 丘 町	○						
勝 沼 町						○	
石 和 町	○						
御 坂 町						○	
一 宮 町	○						
八 代 町		11年頃					
中 道 町	○						
三 珠 町					財政的に困難		
市川大門町						○	
六 郷 町						○	
下 部 町				有資格職員の活用を検討する			
増 穂 町						○	
鰍 沢 町					当面在宅栄養士を活用		
中 富 町					財政的に困難		
早 川 町	○						
身 延 町						○	
南 部 町						○	

町 の 部 (つづき)	既に栄養士を配置している	配置計画をもち採用の年度別計画がある			配置計画のない 主 な 理 由	回答の なかったところ	備 考
		管 理 栄養士	栄養士	他部署勤務栄養士の 活用を検討している			
富 沢 町	○	平成8年7月より臨時職員として採用					臨時職員
白 根 町		11年頃					
若 草 町					財政的に困難		
櫛 形 町						○	
甲 西 町			12年頃				
双 葉 町			10年頃				10年度以降
須 玉 町	○						
高 根 町						○	
長 坂 町						○	
小淵沢町						○	
白 州 町						○	
西 桂 町	○						
河口湖町			10年頃				
上野原町						○	
計	9	1	4	1	5	17	

村 の 部 (20 市)	既に栄養士を配置している	配置計画をもち採用の年度別計画がある			配置計画のない 主 な 理 由	回答の なかったところ	備 考
		管 理 栄養士	栄養士	他部署勤務栄養士の 活用を検討している			
上九一色村			10年頃				
三 富 村						○	
大 和 村						○	
境 川 村	○						
豊 富 村						○	
芦 川 村					財政的に困難		
八 田 村						○	
芦 安 村						○	
明 野 村		13年頃					
大 泉 村						○	
武 川 村					定員枠内での対応困難		
道 志 村						○	
忍 野 村						○	
山中湖村						○	
勝 山 村			9 年度				
足和田村					財政的に困難		
鳴 沢 村	○						
秋 山 村						○	

町 の 部 (つづき)	既に栄養士を配置している	配置計画をもち採用の年度別計画がある			配置計画のない 主 な 理 由	回答の なかったところ	備 考
		管 理 栄養士	栄養士	他部署勤務栄養士の 活用を検討している			
小 菅 村						○	
丹波山村						○	
計	2	1	2			13	
合 計	15	2	7	1	8	31	

(平成9年2月15日現在)

◎ 管理栄養士または栄養士の採用は考えていない、その他の理由

- 現在、町職員の中で栄養士資格を持っている人が2名ほどおりますので、いずれ栄養士として活躍してもらおう予定。(下部町)
- 在宅栄養士で当分おぎなっている。(鯉沢町)
- 人口規模等から考えて、職員定数等の問題もあり、非常勤にて対応していくことが適当という上部の判断である。(芦川村)

◎地域保健法の施行に対する意見

- 職員定数の関係から、マンパワーの確保に困難を来しています。業務委譲に伴い、その辺りの指導も合せて行われたら実施しやすくなると思われます。(大月市)
- 財政支援(田富町)
- 現状業務で手いっぱいなのに、さらに委譲事務が増え苦慮している。(鯉沢町)
- 権限委譲により、市町村における栄養改善業務が拡大されてきましたので、住民のニーズに対応する体制づくりを目ざし、事業を合理的、効果的に推進するため市町村には専任の常勤栄養士、特に広範な事業の企画、調整が必要なため管理栄養士の設置が望まれます。各市町村への定着までの間は、別枠による財政措置が講ぜられる事を強く要望します。(白根町)
- 住民の栄養指導、栄養相談を実施していくうえでは、やはり専門家としての栄養士の確保は前向きに考えていく必要があると思います。(双葉町)
- 委譲に対する県の指導、協力、情報提供を適確にして欲しい。(河口湖町)
- 地域保健法等の一部改正に伴い、栄養指導等の業務が増加し、栄養士の必要性は明確であるが、小規模な町村においては栄養士の採用が困難なことが予想される。今後、国等で栄養士を配置するにあたり補助金等の検討をお願いします。(上九一色村)
- 住民の身近な村が主体的に業務をすることは良いと思うが町村によって格差は生じやすいように思う。(明野村)
- 近年における事務事業の増大、複雑多様化した中で限られた定員枠での対応が非常に困難である。(武川村)

◎市町村が現在抱えている住民保健の問題点などがありましたら、お聞かせください。

- マンパワー不足(鯉沢町)
- 大月市では、保健に係わる組織の育成に困難を感じます。(大月市)
- ①子育て支援サークルの育成(育児相談システム)②糖尿病、高血圧症等の習慣病の増加③老人医療費の高騰(田富町)
- 住民検診の相談室でも食生活の指導は重要な位置にあり、行政栄養士の必要性も感じています。隣の早川町の様子なども聞きながら、今後検討していかなければならない問題と思っています。(中富町)
- 保健婦、栄養士等の専門職の増加が必要ですが、職員の定数条例に阻まれ、なお財政上の諸問題もあり採用を困難にしています。独自の業務を展開していくためには、展望、取組について意欲と情熱と気力を持って考えたり議論しあう場が必要でありますので、他部署との連携や市町村間との交流がひとつの課題として挙げられてくるものと考えられます。(白根町)
- 疾病別に教室等を実施しても参加者が少ない。(若草町)
- 在宅ケアがさげばれ、介護保険の導入も目前にし、母親学級、成人病予防等の栄養相談のみでなく、老人保健の中での栄養指導も今後大きな課題になってくると考えます。(例えば、経管栄養をしている在宅療養者など)(双葉町)
- 高齢化がかなり進んでいることにより医療費の高騰など財政の問題。(明野村)
- 寝たきり老人、虚弱老人への在宅栄養指導。成人病検診、事後指導の時の栄養指導など専門的指導が充実されていない。(足和田村)

平成8年度 収入支出計算書

前期繰越金 767,810円
 歳入総額 10,216,805円 (前期繰越分を含む)
 歳出総額 9,942,229円
 次期繰越金 274,576円

歳入の部

(△:減)

科 目	予 算 額		決 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 費	3,417,000		3,174,000	243,000	
入 会 費		40,000	75,000	△35,000	1,000円×75人=75,000円
正 会 員 費		2,977,000	2,769,000	208,000	6,500円×426人=2,769,000円
賛 助 会 員 費		400,000	330,000	70,000	10,000円×33口=330,000円
事 業 費	3,709,760		3,585,624	124,136	
委 託 費					
		3,009,760	2,967,575	42,185	在宅栄養士活用システム整備事業 968,715円 栄養なんでも相談事業 784,036円 栄養成分表示店普及促進事業 108,424円 健康と栄養を考える講習会 235,000円 子どもの成人病予防食生活講習会 265,000円 健康づくり地区栄養相談栄養士研修会 106,400円 強化精麦普及啓発事業 500,000円
手 数 料		550,000	398,049	151,951	物資斡旋 304,009円、図書斡旋 94,040円
広 告 料		150,000	220,000	△70,000	展示手数料 130,000円、広告手数料90,000円
雑 収 入	2,832,400		2,689,371	143,029	
雑 収 入		400,000	430,000	△30,000	寄付金等
		5,000	1,571	3,429	預金利子
預 り 金		2,427,400	2,257,800	169,600	出日本栄養士会会費 5,300円×426人=2,257,800円
繰 越 金	767,810		767,810	0	
繰 越 金		767,810	767,810	0	
合 計	10,726,970	10,726,970	10,216,805	510,165	

歳出の部

(△:減)

科 目	予 算 額		決 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 議 費	430,000		173,821	256,179	
総 会 費		200,000	59,593	140,407	平成8年度通常総会
役 員 会 費		230,000	114,228	115,775	理事会・監事・支部長・職域部会長会議等

科 目	予 算 額		決 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
管 理 費	4,450,000		4,424,618	205,382	
渉 外 費		100,000	165,806	△65,806	慶弔・見舞・餞別等
役 員 行 動 費		480,000	577,330	△97,330	会長・副会長・役員行動費
事務所管理費		170,000	219,000	△49,000	事務所使用料、駐車料、備品等
役 員 報 酬 費		800,000	700,000	100,000	常任理事報酬 (退職積立金を含む)
職 員 費		1,900,000	1,660,000	240,000	常勤職員給料 (退職積立金を含む)
賃 金		100,000	100,000	0	臨時雇上賃金
事 務 所 費		900,000	822,482	77,518	需要費 (消耗品、電話、電気、郵便料等)
事 業 費	2,603,160		2,608,784	△5,624	
講 習 会 費					栄養成分表示店普及促進事業 健康づくり米食栄養学術講習会 子どもの成人病予防食生活講習会 健康と栄養を考える講習会 在宅栄養士活用システム整備事業 栄養なんでも相談事業 強化精麦普及啓発事業 研究発表会 歯の無料相談事業 健康づくり歯科保健相談事業 集団給食調理従事者研修会
広 報 費		500,000	591,102	△91,102	栄養やまなし、会員名簿
補助金及び負担金	699,000		627,206	71,794	
補 助 金					支部・職域部会研修等補助金 均等割 15,000円×(8支部+7職域部会)=225,000円 支部・職域部会研修補助金会員数割 (250円×426人)×2=213,000円 日本栄養改善学会発表奨励補助金 20,000円×3人 60,000円 日本栄養改善学会参加奨励補助金 3,000円×18人 54,000円
負 担 金		85,000	75,206	9,794	栄養改善大会等 (県と共催) 負担金 40,000円 山梨県四万省友好県民会議会費 5,000円 関東甲信越地区糖尿病セミナー (臨時) 30,206円
雑 費	2,477,400		2,287,800	189,600	
慶 弔 費		50,000	30,000	20,000	会員慶弔費 (慶弔規定による)
預 り 金		2,427,400	2,257,800	169,600	日本栄養士会会費 5,300円×426人 2,257,800円
予 備 費	67,410		0	67,410	
予 備 費		67,410	0	67,410	
合 計	10,726,970	10,726,970	9,942,229	784,741	

以上のとおり相違ありません。

平成9年3月31日

社団法人 山梨県栄養士会
 会 長 藤 巻 一 雄
 副 会 長 老 沼 喜久江
 〃 齊 藤 正 治
 常任理事 中 村 大 家
 理 事 深 沢 清 子

監 査 報 告

定款第12条第4項及び第39条の規定により、平成8年度事業報告、収入支出計算書、財産目録について監査を実施しましたところ、その内容は適正なものと認めます。

平成9年5月13日

監 事 小 沢 量 子
 森 田 園 子
 依 田 明 子

財 産 目 録

平成9年3月31日現在

資 産 の 部	内 容	金 額
1. 流動資産		
(1) 現金・預金		
① 現 金	現金有高	274,576
② 当座預金		
③ 普通預金	山梨中央銀行 甲府駅前支店 No.287270	
④ 定期預金	山梨中央銀行 甲府駅前支店 No.71210	2,144,545
	計	2,419,124
2. 固定資産		
(1) 什器備品		
	① 自転車 1	10,000
	② スライド映写機	20,000
	③ 電話 (0552-22-8593)	20,000
	(0552-22-8140)	20,000
	④ リコーワープロ R I P O R T 1600	10,000
	⑤ 日立冷凍冷蔵庫	7,000
	⑥ 事務用机 (2)	40,000
	計	127,000
資 産 合 計		2,546,124

第2号議案

平成9年度 事業計画 (案)

1. 基本方針

21世紀を目前に、栄養士をとりまく社会環境は大きな変革の中で保健・医療・福祉等の各分野で激流のうねりにさらされており、栄養士活動も時代の潮流に適確に対応することが求められている。

社会環境の大きな変化のなかには、出生率の低下や死亡率の低下による少子・高齢化社会問題、生活習慣病といわれる慢性疾患の増加、余暇時間の拡大、価値観の多様化、女性の社会進出の激増、家庭機能の変化、国際化の進行による海外交流の増加、世界的規模で進行する物流の増加等が見られる。

一方、4月から完全施行された地域保健施策のなかでは、一般的な栄養相談、指導事業の市町村への移管や、医療施設や在宅患者等に対する栄養指導の充実問題があり、栄養士に対する社会的要求は一層高まることが予測されるが、これらの社会的期待に応え得る専門職として更なる研鑽が求められている。そのためには栄養士自身が従来の思考や行動、業務に対する姿勢や意識等から大きく脱皮・転換し時代のニーズに対応できる発想の転換による自己改革を果たさなければならない。

2. 具体的事項

- (1) 会員の資質向上
- ① 各種研修会・講習会の充実
科学技術の進歩に伴い、会員自身が自己研鑽に努めると同時に、会員に学習の場を可能な限り提供するため、「健康づくり米食栄養学術講習会（関東ブロック講習会）」、「栄養学術講座（第3年次）」、「インスタントラーメン『健康と栄養』セミナー」等を開催する。
 - ② 研究発表会の開催
過去7回を数える研究発表会も年々内容の充実が見られ、栄養士の職域も拡大の一途をたどっている。しかしながら一人職場の多い栄養士にとって、ややもすると閉鎖的となり、日常業務も惰性に流れ易く日進月歩の学問技術からも遠ざかり勝ちである。かかる状態から脱却して、仲間の業績や業務への取り組みなど新しい知見を吸収する絶好の研鑽の場として、引き続き開催する。
 - ③ 各職域部会、各支部においても夫々が創意と工夫をこらした研究会、研修会等を適時開催する。
- (2) 組織の強化
- ① 地域保健施策の市町村への移管に伴い、保健所を中心とした支部組織の強化と充実が緊急の課題である。地域保健・医療・福祉の課題も山積しており、在宅医療や、在宅介護問題等に見られるように地域保健・医療・福祉の充実が時代の要請である。
支部長を中心に行政部会、地域活動部会、医療部会、福祉部会等、各職域部会が連帯してこれらの要請に応えられる体制を早急に整える必要がある。
 - ② 平成8年度から導入した会費納入に至便な銀行口座からの自動振替制度の利用会員が少なく、会費納入の簡素化に支障をきたしている。制度の理解が乏しいものと思われるので、支部長、職域部会長が中心になって末端会員への働き掛けを徹底し会費納入の合理化を進める。
 - ③ 就業栄養士で本会への未入会員が多く見られる現状から、未入会員に対する入会勧誘を支部、職域部会が的確な情報収集により推進する。
 - ④ 新入会員の獲得と、会費納入による脱落会員の防止が緊急の課題である。数は力であり、個人の努力や発言も大切であるが、これには自ずから限界があり、栄養士の悲願でもある栄養士制度改革もまた例外ではない。このためにも会員数増加対策は、極めて重要な課題であり、他の医療専門職団体が修業年限の延長による高学歴、国家試験の皆受験や早期実施等による資格の高度化、安定化に成功して

いることなど見習う必要がある。新入会員の獲得、脱落会員の防止について各支部長、職域部会長は組織を挙げて推進する。

(3) 社会活動の展開

- ① 昨年春まで山梨日日新聞紙上に連載していた「栄養なんでも相談」の県民への栄養・食生活情報記事は、秋以降からはより身近な市町村広報紙に掲載を要請し、県下市町村に送付したが、今年度も引き続き継続するので、理事等の役員を始め一般会員からの投稿を期待している。
- ② 本会事務局に開設している電話による「栄養なんでも相談」も6年目を迎え、担当者が昨年の役員改選により大幅に交替したが、ようやく軌道に乗り始めており、担当者の研究会なども適宜行いながら相談業務の充実を進める。
- ③ 「いきいき山梨ねんりんピック'97」が今年も引き続き9月に開催されるが、本会の数少ない社会参加の機会でもあるので、理事を中心に、会場に近い会員の協力も得ながらサービスを提供する。
- ④ 食物繊維の普及啓発として精麦製品の普及活動を引き続き地域活動部会・支部組織を挙げて県下全般に展開する。
- ⑤ その他、国、県、市町村はじめ各種団体との連携強化や事業協力を進める。

平成9年度 収入支出予算書（案）

歳入の部

(△：減)

科 目	予 算 額		前 年 度 予 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 費	3,430,000		3,417,000	13,000	
入 会 費		40,000	40,000	0	1,000円×40人 40,000円
正 会 員 費		2,990,000	2,977,000	13,000	6,500円×460人 2,990,000円
賛 助 会 員 費		400,000	400,000	0	10,000円×40口 400,000円
事 業 費	4,113,000		3,709,760	403,240	
委 託 費		3,063,000	3,009,760	53,240	在宅栄養士活用システム整備事業 968,000円 栄養なんでも相談事業 784,000円 健康づくり地区栄養相談栄養士研修会 106,000円 健康づくり米食栄養学術講習会（ブロック講習会） 405,000円 インスタントラーメン「健康と栄養」セミナー 300,000円 強化麦普及啓発事業 500,000円
手 数 料		700,000	550,000	150,000	栄養関係物資・図書等斡旋手数料
広 告 料		350,000	150,000	200,000	広告料等（栄養やまなし）
雑 収 入	2,938,000		2,832,400	105,600	
雑 収 入		500,000	405,000	95,000	寄付金等及び預金利子 200,000円 研修会等資料代（500円×延600人） 300,000円
預 り 金		2,438,000	2,427,400	10,600	日本栄養士会会費（5,300円×460人） 2,438,000円
繰 越 金	274,576		767,810	△493,234	
繰 越 金		274,576	767,810	△493,234	
合 計	10,755,576	10,755,576	10,726,970	△28,606	

歳出の部

(△：減)

科 目	予 算 額		前 年 度 予 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 議 費	300,000		430,000	△130,000	
総 会 費		100,000	200,000	△100,000	平成9年度通常総会
役 員 会 費		200,000	230,000	△30,000	理事・監事・部長・支部長・職域部会長会議等

科 目	予 算 額		前 年 度 予 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
管 理 費	5,260,000		4,450,000	810,000	
渉 外 費		100,000	100,000	0	
役員行動旅費		600,000	480,000	120,000	
事務所管理費		960,000	170,000	790,000	事務所貸借料 35,000円×12月 420,000円 公 益 費 200,000円 駐車料2台分（20,000円×12月） 240,000円 備 品 費 100,000円
役員報酬費		820,000	800,000	20,000	常任理事 月額60,000円 +（退職積立金）
職員費		1,750,000	1,900,000	△150,000	月額110,000円 +（退職積立金）
賃 金		80,000	100,000	△20,000	
事務所費		950,00	900,000	50,000	需要費（電話・消耗品・通信運搬費等）
事業費	2,084,000		2,603,160	△519,160	
普及啓発費		1,734,000	2,103,160	△369,160	在宅栄養士活用システム整備事業 栄養なんでも相談事業 健康づくり地区栄養相談栄養士研修会 健康づくり米食栄養学術講習会（関東地区講習会） インスタントラーメン「健康と栄養」セミナー 強化精麦普及啓発事業 栄養学術講座（平成9年度:第5回・6回） 第8回研究発表会
広報費		350,000	500,000	△150,000	栄養やまなし発行（年3回）、会員名簿 0円
補助金及び負担金	584,000		699,000	△115,000	
補助金		539,000	614,000	△61,000	支部事業補助均等割 25,000円×8支部（歯科保健事業を含む） 職域部会事業補助均等割 15,000円×7部会 支部・職域部会事業補助会員割（200円×460人）×2 栄養改善学会等発表奨励金補助 10,000円×5人 栄養改善学会参加奨励金 0円
負担金		45,000	85,000	△40,000	栄養改善大会負担金 40,000円 山梨県四川省友好県民会議会費 5,000円
雑 費	2,488,000		2,477,400	10,600	
慶 弔 費		50,000	50,000	0	会員慶弔費（慶弔規定による）
預 り 金		2,438,000	2,427,400	10,600	日本栄養士会会費 5,300円×460人
予 備 費	39,576		67,410	△27,834	
予 備 費		39,576	67,410	△27,834	
合 計	10,755,576	10,755,576	10,726,970	△28,606	

第3号議案

定款の一部変更承認の件

《変更の理由》

甲府市丸ノ内2丁目38番8号山梨県精麦工業共同組合から、新たに甲府市丸ノ内1丁目10番5号の山梨県社会福祉会館に移転するための定款変更である。

定 款

第2条 本会は、事務所を「山梨県甲府市丸ノ内2丁目38番8号」に置く。を「山梨県甲府市丸ノ内1丁目10番5号」に変更する。

第4号議案

会員の除名承認の件

《会員除名の理由》

定款第9条第1項第1号の規定により、「会費を1年以上納入」しなかった会員を除名するものである。

除名会員数 38名 別紙1の通り

（参 考）

定 款

第9条 会員が各号のいずれかに該当するときは、総会において、会員の4分の3以上の同意により、これを除名することができる。

(1) 会費を1年以上納入しないとき

(2) 本会の名誉をき損し、または目的趣旨に反する行為があったとき

2 前項第2号の規定により会員を除名しようとするときは、除名の議決を行う総会において、その会員に弁明の機会を与えなければならない。

3 前条の規定により、除名された会員には、その旨を通知しなければならない。

除 名 会 員 名 簿

(平成 9 年 3 月 31 日現在)

No.	番 号	氏 名	支 部	職域部会	No.	番 号	氏 名	支 部	職域部会
1	90	安 富 好 美	大 月	福 祉	20	388	山 下 八 千 代	石 和	学 校
2	96	窪 田 み ち 代	甲 府	地域活動	21	396	志 村 朱 美	小 笠 原	福 祉
3	102	飯 沼 一 美	日 下 部	地域活動	22	397	天 野 早 苗	甲 府	病 院
4	103	長 田 美 紀	石 和	病 院	23	465	丸 山 美 奈	日 下 部	地域活動
5	180	小 林 貴 子	日 下 部	病 院	24	478	井 山 陽 子	甲 府	福 祉
6	205	小 池 か お る	身 延	地域活動	25	495	堀 内 美 里	甲 府	福 祉
7	211	今 橋 静 子	韮 崎	福 祉	26	496	長 田 恵 子	甲 府	病 院
8	239	中 山 清 美	甲 府	病 院	27	499	小和田 千 恵	身 延	産 業
9	249	斎 藤 洋 子	甲 府	地域活動	28	500	穂 坂 和 美	韮 崎	産 業
10	251	加 藤 由 佳	身 延	福 祉	29	502	小 林 真 理 子	甲 府	産 業
11	253	広 瀬 智 子	甲 府	福 祉	30	504	手 塚 純 子	甲 府	地域活動
12	259	西 川 幸 子	吉 田	地域活動	31	505	戸 田 ま ゆ み	甲 府	福 祉
13	275	小 川 奈 津 美	甲 府	地域活動	32	510	中 村 由 加 子	石 和	福 祉
14	281	河 野 美 春	日 下 部	病 院	33	516	荻 原 未 枝	甲 府	産 業
15	283	笹 本 満 美	甲 府	福 祉	34	517	初 鹿 野 美 由 紀	石 和	産 業
16	295	小 林 知 美	韮 崎	福 祉	35	518	鈴 木 初 美	石 和	福 祉
17	317	塚 原 あ ゆ み	石 和	福 祉	36	520	高 橋 理 恵	韮 崎	地域活動
18	349	菊 池 文	甲 府	産 業	37	521	市 川 紀 子	甲 府	病 院
19	359	市 川 妙 子	身 延	福 祉	38	526	桜 林 あ つ み	甲 府	地域活動

平成 9 年度 日本栄養士連盟山梨県支部総会

第 1 号議案

1. 平成 8 年度活動報告

(1) 活動報告の概要

地域保健法の公布・施行により従来の都道府県（保健所による）が実施していた栄養相談指導の業務が市町村に委譲されることとなったが、これに従事する管理栄養士や栄養士の専門職の配置されている市町村は極めて少なく、これを充足させるための運動が全国一斉に各都道府県栄養士会及び各都道府県栄養士連盟の連携のもとに行われ、本県においても山梨県栄養士会と連携して県下各市町村及び市町村議会議長宛に陳情した。（陳情した結果：別添栄養士会添付資料参照）

また、10月20日に行われた第41回衆議院議員選には、第 2 選挙区の堀内光雄議員を推薦し、その結果当選を果たし、選挙後、招集された第138回特別国会で自由民主党単独政権（社民・さきがけ与党・閣外協力）が発足した。

2. 会 議

a. 山梨県支部通常総会

平成 8 年 5 月 25 日(土) 16:00 時～17:00 時 山梨学院大学第 40 号館

第 1 号議案 平成 7 年度活動報告及び収入支出決算書承認の件

第 2 号議案 平成 8 年度活動計画（案）及び収入支出予算（案）承認の件

第 3 号議案 役員改選の件

第 1 号議案及び第 2 号議案は賛成多数で承認される。

第 3 号議案の役員改選の件は、別紙の通り選出決定し、新たな執行体制が確立した。

b. 日本栄養士連盟通常総会 平成 8 年 6 月 7 日(金) 駒場エミナース

代議士：深沢清子・大木由枝・山本賀子の 3 名及び藤巻副支部長出席

c. 関東地区各県栄養行政担当者及び各県栄養士会長並びに連盟支部長合同会議

平成 9 年 1 月 21 日～22 日 群馬県前橋市 早川文子県栄養担当・藤巻会長・白須幹事長出席

d. 都道府県支部長会議及び自民党栄養士議員連盟との懇談会

平成 9 年 2 月 27 日～28 日 日本健康栄養会館及び自由民主党本部会議室

出席者 藤巻副支部長・白須幹事長

e. 幹事会

第 1 回幹事会 平成 8 年 4 月 23 日(火) 山梨県栄養士会事務所

第 2 回幹事会 平成 8 年 6 月 21 日(金) 山梨県栄養士会事務所

第 3 回幹事会 平成 8 年 10 月 4 日(金) 山梨県栄養士会事務所

第 4 回幹事会 平成 9 年 3 月 18 日(土) 山梨県栄養士会事務所

別 紙 日本栄養士連盟山梨県支部執行体制

(平成8年度～9年度)

役 職 員	氏 名	分 会 名	現 住 所
支 部 長	長 田 正 五	甲 府	甲府市大津町39 0552-41-2824
副 部 長	藤 卷 一 雄	甲 府	甲府市千塚4-8-26 0552-51-1650
〃	小 沢 量 子	甲 府	甲府市緑が丘1-18-20 0552-52-5058
幹 事 長	白 須 そ の	大 月	上野原町鶴島1650 0554-62-5154
幹事長代行	森 田 園 子	甲 府	甲府市国母5-16-2 0552-24-4756
財 政 部 長	中 村 大 家	甲 府	甲府市山宮3000-2 0552-52-5449
幹事兼分会長	中 込 和 代	甲 府	甲府市朝気3-2-21 0552-33-5733
幹 事	大 沢 千 明	甲 府	甲府市湯田1-5-2 0552-33-6892
幹事兼分会長	高 石 梅 子	日 下 部	塩山市平沢689 0553-32-0819
〃	斎 藤 正 治	石 和	白根町在家塚1016 0552-83-3841
	望 月 かほる	身 延	南部町中野2461 0556-64-2406
	河 西 一 三	小 笠 原	若草町藤田503 0552-83-3841
	五 味 保 子	韭 崎	甲西町古市場122-1 0552-82-1756
	林 芳 江	吉 田	富士吉田市竜が丘3-12-7 0555-22-1347
	中 野 輝 子	大 月	都留市十日市場1519 0554-43-2407
監 事	渡 辺 富 雄	日 下 部	甲府市東光寺1-8-1 0552-35-5129
	水 地 民 子	甲 府	甲府市古府中町855 0552-51-0601

◎総務担当：統括責任者 五味保子幹事
担 当 大沢千明・望月かほる・林 芳江の各幹事
◎調査担当：統括責任者 斎藤正治幹事
担 当 高石梅子・河西一三・中野輝子の各幹事

平成8年度 収入支出計算書

前期繰越金 196,329円
歳入総額 504,737円 (前期繰越分を含む)
歳出総額 486,726円
次期繰越金 19,011円

歳 入 の 部 (△：減)

科 目	予 算 額		決 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 費	206,100		191,700	14,400	
会 費		206,100	191,700	14,400	450円×426人 191,700円
本部特別助成金	10,000		10,000	0	
本部助成金		10,000	10,000	0	
雑 収 入	115,500		107,708	7,792	
預 り 金		114,500	106,500	8,000	250円×426人 106,500円
預 金 利 子		1,000	1,208	△208	
繰 越 金	196,329		196,329	0	
繰 越 金		196,329	196,329	0	
合 計	527,929	527,929	505,737	22,192	

歳 出 の 部 (△：減)

科 目	予 算 額		決 算 額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 議 費	120,000		102,881	17,119	
会 議 費		120,000	102,881	17,119	
事 業 費	80,000		96,545	△16,545	
事 業 費		80,000	96,545	△16,545	
助 成 金	141,800		122,600	19,200	
助 成 金		141,800	122,600	19,200	分会活動費補助10,000円×8分会 80,000円 分会会員割100円×426人 42,600円
需 要 費	70,000		58,200	11,800	
需 要 費		70,000	58,200	11,800	
預 り 金	114,500		106,500	8,000	
預 り 金		114,500	106,500	8,000	250円×426人 106,500円
予 備 費	1,629		0	1,629	
予 備 費		1,629	0	1,629	
合 計	527,929	527,929	486,726	41,203	

◎財産目録 山梨中央銀行甲府駅前支店定期預金 445,768 円 (口座番号：71209号)

以上のとおり相違ありません。

平成9年3月18日 日本栄養士連盟山梨支部
支 部 長 長 田 正 五 ㊞
副支部長 藤 卷 一 雄 ㊞
〃 小 沢 量 子 ㊞
幹 事 長 白 須 そ の ㊞
財政部長 中 村 大 家 ㊞

監 査 報 告

日本栄養士連盟山梨県支部規約第10条の6の規定により、平成8年度活動状況、収入支出計算書、財産目録について監査を実施しましたところ、適正なものと認めます。

平成9年3月18日 監 事 渡 辺 富 雄 ㊞
水 地 民 子 ㊞

平成 9 年度 活動計画（案）

1. 基本方針

栄養士連盟支部活動の基盤は、会員増対策に並んで会員の政治意識の高揚と団結の強化を進め、健康増進の基礎的要件である栄養指導の推進、そのための市町村を始め各職域に管理栄養士、栄養士の配置を促進し、管理栄養士・栄養士の処遇の改善を図りながら、山梨県栄養士会と裏表一体となって、政治的解決を必要とする部分を担い活動を展開する。

最近の急速な社会環境の変化は、栄養士にとって必ずしもよい環境とはいえない状況であり、日本栄養士連盟、日本栄養士会及び山梨県栄養士会との連携を大切にしながらか級選挙活動を積極的に進め、これを通して、少子高齢時代に対応する健康づくり、栄養・食生活改善に関する各種施策への協力・推進、栄養士関係諸制度の改善等諸懸案事項の促進実現を図る。

2. 目 標

- (1) 栄養士制度の改革促進
- (2) 保健・医療・福祉分野の栄養士活動の基盤整備
- (3) 管理栄養士・栄養士の必置拡大の促進
- (4) 管理栄養士・栄養士の職域領域の拡充・処遇改善の促進
- (5) 行政改革（地方分権・既成緩和・保健所再編成）への対応
- (6) 選挙運動の充実促進
- (7) 連盟支部の確認団体化の検討

3. 活 動

- (1) 保健・医療・福祉関係法令等運用への対応
- (2) 健康づくり・栄養施策の拡充強化への促進
- (3) 少子・高齢社会における栄養施策の拡充強化促進
- (4) 地方公共団体との連携強化
- (5) 国会議員・地方議員との連携強化
- (6) 国政選・地方選・首長選挙等推薦候補の応援
- (7) 関係団体との連携強化
- (8) 組織の強化
 - a. 栄養士議員連盟との連携強化の検討
 - b. 広報活動の強化
 - c. 本部との連携強化と会員増対策の推進

平成 9 年度 収入支出予算書（案）

歳 入 の 部 (△：減)

科 目	予 算 額		前年度 予算額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 費	202,500		206,100	△3,600	
正 会 員 費		202,500	206,100	△3,600	450円×450人 202,500円
本部特別助成金	10,000		10,000	0	
本 部 助 成 金		10,000	10,000	0	
雑 収 入	113,000		115,500	△2,500	
雑 収 入		500	1,000	△500	預金利子
預 り 金		112,500	114,500	△2,000	日本栄養士連盟会費250円×450人 112,500円
繰 越 金	19,011		196,329	△177,318	
繰 越 金		19,011	196,329	△177,318	
合 計	344,511	344,511	527,929	△183,418	

歳 出 の 部 (△：減)

科 目	予 算 額		前年度 予算額	比較増減	摘 要
	項	目			
会 議 費	50,000		120,000	△70,000	
総 会 費		20,000	50,000	△30,000	平成 9 年度通常総会
役員会議費		30,000	70,000	△40,000	幹事会等
管 理 費	140,000		150,000	△10,000	事業費を組替改定
役員旅費		80,000	80,000	0	
事務所費		60,000	70,000	△10,000	需要費（電話・消耗品・通信運搬費等）
活 動 費	40,000		141,800	△101,800	分会活動費均等割5,000円×8分会＝ 40,000円
分会活動費		40,000	141,800	△101,800	会員割 0円
雑 費	112,500		114,500	△2,000	
預 り 金		112,500	114,500	△2,000	日本栄養士連盟会費250円×450人＝ 112,500円
予 備 費	2,011		1,629	382	
予 備 費		2,011	1,629	382	
合 計	344,511	344,511	527,929	△183,418	

規約の一部変更承認の件

《変更の理由》

本支部の事務所は甲府市丸ノ内 2 丁目38番 8 号の社団法人山梨県栄養士会内に置いているが、山梨県栄養士会が今般、甲府市丸ノ内 1 丁目10番 5 号に事務所を移転するので、本支部も事務所を移転変更するものである。

（規 約）

第 2 条 本支部の事務所は、「甲府市丸ノ内 2 丁目38番 8 号」の社団法人山梨県栄養士会内に置く。とあるのを、本支部の事務所は、「甲府市丸ノ内 1 丁目10番 5 号」の社団法人山梨県栄養士会内に置く。に変更する。

平成 9 年度新入会員名簿

学校部会

会員番号	氏 名	勤 務 先	住 所
537	原 田 志 織	竜王町立玉穂中学校 〒400-01 竜王町西八幡3190 0552-79-0281	〒400-01 竜王町竜王1435-30 0552-76-8201

行政部会

372	勝俣美由紀	吉田保健所 〒403 富士吉田市上吉田848-1 0555-22-3224	〒403 富士吉田市小見明2133 0555-22-4897
-----	-------	--	--------------------------------

地域活動部会

83	小笠原二三		〒409-38 玉穂町下三条905-3 0552-73-8400
206	遠 藤 和 美		〒409-29 下部町北川1090 0556-36-0385
243	飯 塚 本 子		〒408 小淵沢町1185-30 0551-36-4057
492	望月寿美子		〒409-32 六郷町落居6806 0556-32-2808

産業部会

220	名 取 茂 美	千里(株) 〒409-38 田富町山之神3386-4 0552-73-6998	〒409-38 昭和町紙漉阿原2614 0552-75-6477
222	斎 藤 利 江	(株)グリーンハウス 斐崎市穂坂町三ツ沢650テル総合研究所内 0551-22-2012	〒400-01 敷島町牛匂2350-30 0552-77-5967
252	飯 野 君 恵	富士給食 〒409-38 昭和町紙漉阿原1380 松下電器産業(株) コンプレッサー事業部 0552-75-5111	〒400-01 竜王町富竹新田839 0552-76-6299
280	安部さやか		〒400 甲府市千塚3-1-46 0552-52-4491
327	飯 野 美 穂	(株)サンキムラヤ 〒甲府市西下条町1065-1 0552-41-4155	〒400-02 白根町飯野892-1 0552-83-2139
330	伊藤友里恵	スリムビューティーハウス(株) 〒400 甲府市丸の内2-2-3 0552-33-3646	〒400 甲府市貢川本町9-12 0552-22-3656
422	近 藤 孝 子	スリムビューティーハウス(株) 〒400 甲府市丸の内2-2-3 0552-33-3646	〒400 甲府市東光寺1-1-5ビスワ金手202 0552-26-3981
423	三枝佐和子	宮坂醸造(株) 〒400 甲府市高室町170 0552-41-8181	〒409-13 勝沼町深沢3504 0553-44-1620
438	高 畑 幸 江	(株)テンヨ武田 〒400 甲府市幸町9-30 0552-35-1141	〒404 塩山市上井尻1429-4 0553-32-0035
451	高山まゆみ	(株)ちぼり 〒400-15 中道町下曾根3402-3 0552-66-5117	〒409-38 田富町布施1429-4 0552-73-5171
461	田 中 恵 美	(株)シャトレーゼ 〒400-15 中道町下曾根3440-1 0552-66-5151	〒400 甲府市国玉町1324-6 0552-28-1681
462	鶴 田 ル ミ	(株)利根塩山工場 〒404 塩山市三日市場1900-1 0553-20-2600	〒404 牧丘町倉科711 0553-35-3620
474	深 澤 宏 美	(有)モリ給食 〒409-38 玉穂町中樋1234-1 0552-73-0837	〒400 甲府市緑が丘2-9-12 0552-53-3041
506	渡邊めぐみ	大月給食センター 〒401 大月市大月町花咲1378 0554-22-2245	〒403 西桂町倉見41-1 0555-25-2989

病院部会

78	真野嘉比呂	山梨医科大学附属病院 〒409-38 玉穂町下河東1110 0552-73-1111	〒409-38 玉穂町成島1559-1F-103 0552-74-0850
339	植 松 美 香	東ヶ丘病院 〒407-01 斐崎市穂坂町宮久保1216 0551-22-0087	〒408-03 白州町白須1095 0551-35-2831
340	岡 村 良 子	石和共立病院 〒406 東八代郡石和町広瀬623 0552-63-3131	〒400 甲府市向町595カルム小池Ⅱ 201 0552-32-5027
420	小 池 君 枝	甲府城南病院 〒400 甲府市上町753-1 0552-43-3938	〒400 甲府市幸町24-13 0552-37-6304

規約の一部変更承認の件

《変更の理由》

本支部の事務所は甲府市丸ノ内 2 丁目38番 8 号の社団法人山梨県栄養士会内に置いているが、山梨県栄養士会が今般、甲府市丸ノ内 1 丁目10番 5 号に事務所を移転するので、本支部も事務所を移転変更するものである。

（規 約）

第 2 条 本支部の事務所は、「甲府市丸ノ内 2 丁目38番 8 号」の社団法人山梨県栄養士会内に置く。とあるのを、本支部の事務所は、「甲府市丸ノ内 1 丁目10番 5 号」の社団法人山梨県栄養士会内に置く。に変更する。

平成 9 年度新入会員名簿

学校部会

会員番号	氏 名	勤 務 先	住 所
537	原 田 志 織	竜王町立玉穂中学校 〒400-01 竜王町西八幡3190 0552-79-0281	〒400-01 竜王町竜王1435-30 0552-76-8201

行政部会

372	勝俣美由紀	吉田保健所 〒403 富士吉田市上吉田848-1 0555-22-3224	〒403 富士吉田市小見明2133 0555-22-4897
-----	-------	--	--------------------------------

地域活動部会

83	小笠原二三		〒409-38 玉穂町下三条905-3 0552-73-8400
206	遠 藤 和 美		〒409-29 下部町北川1090 0556-36-0385
243	飯 塚 本 子		〒408 小淵沢町1185-30 0551-36-4057
492	望月寿美子		〒409-32 六郷町落居6806 0556-32-2808

産業部会

220	名 取 茂 美	千里(株) 〒409-38 田富町山之神3386-4 0552-73-6998	〒409-38 昭和町紙漉阿原2614 0552-75-6477
222	斎 藤 利 江	(株)グリーンハウス 斐崎市穂坂町三ツ沢650テル総合研究所内 0551-22-2012	〒400-01 敷島町牛匂2350-30 0552-77-5967
252	飯 野 君 恵	富士給食 〒409-38 昭和町紙漉阿原1380 松下電器産業(株) コンプレッサー事業部 0552-75-5111	〒400-01 竜王町富竹新田839 0552-76-6299
280	安部さやか		〒400 甲府市千塚3-1-46 0552-52-4491
327	飯 野 美 穂	(株)サンキムラヤ 〒甲府市西下条町1065-1 0552-41-4155	〒400-02 白根町飯野892-1 0552-83-2139
330	伊藤友里恵	スリムビューティーハウス(株) 〒400 甲府市丸の内2-2-3 0552-33-3646	〒400 甲府市貢川本町9-12 0552-22-3656
422	近 藤 孝 子	スリムビューティーハウス(株) 〒400 甲府市丸の内2-2-3 0552-33-3646	〒400 甲府市東光寺1-1-5ビスワ金手202 0552-26-3981
423	三枝佐和子	宮坂醸造(株) 〒400 甲府市高室町170 0552-41-8181	〒409-13 勝沼町深沢3504 0553-44-1620
438	高 畑 幸 江	(株)テンヨ武田 〒400 甲府市幸町9-30 0552-35-1141	〒404 塩山市上井尻1429-4 0553-32-0035
451	高山まゆみ	(株)ちほり 〒400-15 中道町下曾根3402-3 0552-66-5117	〒409-38 田富町布施1429-4 0552-73-5171
461	田 中 恵 美	(株)シャトレーゼ 〒400-15 中道町下曾根3440-1 0552-66-5151	〒400 甲府市国玉町1324-6 0552-28-1681
462	鶴 田 ル ミ	(株)利根塩山工場 〒404 塩山市三日市場1900-1 0553-20-2600	〒404 牧丘町倉科711 0553-35-3620
474	深 澤 宏 美	(有)モリ給食 〒409-38 玉穂町中楯1234-1 0552-73-0837	〒400 甲府市緑が丘2-9-12 0552-53-3041
506	渡邊めぐみ	大月給食センター 〒401 大月市大月町花咲1378 0554-22-2245	〒403 西桂町倉見41-1 0555-25-2989

病院部会

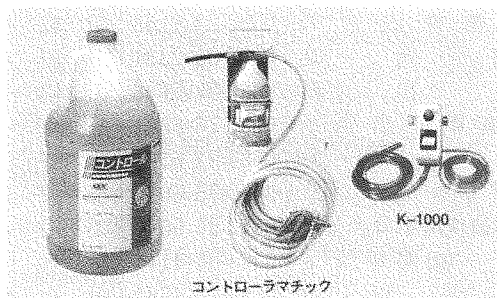
78	真野嘉比呂	山梨医科大学附属病院 〒409-38 玉穂町下河東1110 0552-73-1111	〒409-38 玉穂町成島1559-1F-103 0552-74-0850
339	植 松 美 香	東ヶ丘病院 〒407-01 斐崎市穂坂町宮久保1216 0551-22-0087	〒408-03 白州町白須1095 0551-35-2831
340	岡 村 良 子	石和共立病院 〒406 東八代郡石和町広瀬623 0552-63-3131	〒400 甲府市向町595カルム小池Ⅱ201 0552-32-5027
420	小 池 君 枝	甲府城南病院 〒400 甲府市上町753-1 0552-43-3938	〒400 甲府市幸町24-13 0552-37-6304

コントロール

業務用機器洗浄除菌剤

コントロールは第4級アンモニウム化合物の洗浄除菌剤で、ワンオペレーションで洗浄、消毒、除菌脱臭を行いますので経済的です。

又高温の温水に溶かしても安定しており、効果的な洗浄とサニテーションコントロールの結果が得られます。細菌の発育防止効果の持続性が次亜塩素酸ナトリウムに比較して大幅にながく、有効成分の蒸発もありません。



コントロールマチック

特 性

成 分：第4級アンモニウム塩
pH：8.3% [1%]
外 観：ピンク色の液体
発 泡 性：中程度
対金属安全性：全ての金属に安全

微生物学的データ

Staphylococcus aureus NS-353 (黄色7'ド'球菌)

E.coli (大腸菌)

希釈倍率 時間	1,000倍	500倍	100倍	対 照
30秒	30ヶ	0	0	3.6×10^4
1分	0	0	0	3.5×10^4
5分	0	0	0	3.2×10^4
10分	0	0	0	3.6×10^4
30分	0	0	0	4.9×10^4
60分	0	0	0	4.5×10^4

希釈倍率 時間	1,000倍	500倍	100倍	対 照
30秒	30ヶ	0	0	5.1×10^4
1分	0	0	0	5.5×10^4
5分	0	0	0	8.7×10^4
10分	0	0	0	4.5×10^4
30分	0	0	0	5.3×10^4
60分	0	0	0	8.5×10^4

使用濃度及び使用方法〔希釈機器〕

濃 度	使用目的	使用方法	希釈機器
100倍 [1%]	洗浄類と細菌類の除菌	* 温水で洗剤溶液を作り洗浄する	サブライライン K-1000
500倍 [0.2%]	軽度の汚れの洗浄と除菌	* 温水で洗剤溶液を作り洗浄する * 洗剤溶液を作り散布して デッキブラシでこするか ダスターでふきあげる	サブライライン K-1000 コントロールマチック
1,000倍 [0.1%]	除菌	* 洗剤溶液を作り散布して デッキブラシでこするか ダスターでふきあげる	コントロールマチック

包装単位

20ℓ入り / 3.88ℓ4本入り

使用上の注意及び応急処置は、製品に貼られているラベルを良く読んでから使用して下さい。

ディバーシーリーバ株式会社

本 社：〒150 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビル26F TEL.03-5322-0322



ディバーシーリーバ株式会社

松 本 営 業 所 TEL.0263-28-4851
FAX.0263-28-4852

96.H-F